

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場秘書課編集
電話 (01885)②代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話 (01885) ② 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行

杉ヶ崎墓苑工事進む

—二四・八ハールの公園化—



(広報紙中にある写真を欲しい方には)
おあげします

総工費九億五千万円

杉ヶ崎墓苑の工事が今さかんに行われている。この工事は、五十三年度から着手しているが、総事業費九億五千七百万円、計画面積は二四・八ハールにおよぶものである。そして最終的な墓石は一千基が予定されている。五十四年度の墓苑築造工事では三十三基が造られており、ドウダン生垣とともに少しずつその姿を現わし始めている。

墓苑というよりも

この墓苑築造の発端になったのは、他町村からこの町に転居してきて墓地を持たない人々や、家を建てた独立した町内の需要者の要望に応えたものである。五十五年年度に予定されている工事には、休憩所一棟、給水管工事などがある。第一次以降の五カ年計画ではこのあと引き続き、墓域にサツキやイチイの生垣をめぐらす外、噴水広場、遊園地を兼ねた児童公園、日本庭園、休憩所、慰霊塔、東屋、管理棟などが予定されている。完成後の姿を想像するとき、墓苑というイメージよりも、しゅうしやな近代公園そのもの思えてくる。

三十三年家畜管理所

杉ヶ崎墓苑は、森山森林公園入口右側で、名所四渡園の対岸に位置している。この地はその昔から、近郷農家の簡易家畜屠(と)場として利用されたり、伝染性貧血症馬やケガをして死亡した牛馬の埋葬場所とされるところである。そして、昭和三十三年七月からは本格的な家畜管理所、食肉処理加工所として事業を開始したが、町内の家畜はもろろん隣接町村の牛馬は年々減る一方で、卸商の得意先も秋田市内が多いところから、利用者離れの多くなった三十九年四月に閉鎖されたと獣魂碑に刻み込まれている。

久遠の霊場として

さらに、五城目高校が矢場崎に独立校舎を建設しようとした当時はまた、その候補地に浮上した場所でもあり、町でなにかを企画すれば浮名を流したところとして人々の記憶にとどまっていた。この墓苑計画で、久遠(くおん)の霊場として登場するが、この地をめぐる歴史の流れからして、妥当な帰結かも知れない。

墓苑事業が完成したあとは、人々の霊が安らかに眠る場所としてまた、緑豊かで閑静な公園として憩う人々の足も繁くすることだろう。

生活に密着した問題に熱気

町内会長、町政協力員合同会議

四月二十八日、町民センターで町内会長、町政協力員の合同会議を開いた。

会議の始めに、加賀谷町長から五十五年度に進める町の姿勢が述べられた。この中で、今年度から着工する役場庁舎や大川保育園の建設構想など、町内会の代表に直接発表する初めての機会となった。役場側からの協力依頼事項の説明が終ったあと、引き続き町内各代表からの質疑に入った。司会者の安東町内会長会長の巧みなさばぎで会議は進められたが、二時間にわたる持ち時間を余すところないさかな意見の交換で、それも生活に密着した問題が多いだけに熱気にあふれた会議であった。

各代表による質疑応答の概要は次のとおりである。

荒川 善一郎(田町)

羽黒山脇道路決壊箇所
の取付けをお願いしたい。

戸村大由沢と用地を
話し合いたい

一関建設課長

町道の路肩決壊については早速に整備したいと思っている。間もなく着工の予定である。

道路を広くする件については、戸村堰の用地なので、戸村大由沢土地改良区とも話し合いながら進めたいと思う。

用地が確保できればガードレールも可能であるが、現在の道路に取付けるとすれば、夏分をやっと車を通れる程度で、冬期間ともなるとぐっと狭くなり大変だと思う。その点もう少し時間をいただきたい。と話し合いたい。

街灯の増設を
要望したい

斎藤 正美(館越)

農村総合整備モデル事業(以下モデル事業)ですばらしい街灯を付設していただいたが、同時に旧街灯は撤去されてしまった。私たちとしては、部落内の暗い箇所を利用したいと思っていたところで負担金も納めていることから不合理を感じている。

伊藤管財課長

現地をよく見て、敷設する場所があれば敷設したいと思っている。

町内からの買物は
どうなっているか

京野鉄五郎(御蔵町)

町内会に
配布依頼物にはあまりにもムダが多すぎる。

例えば、町内に薬店があるに

もかわらず、薬の注文申込書などくるが、今後一切受付ないし、戻してやるようにしたい。

小玉総務部長

役場からの配布依頼は、主として町政協力員にお願いしているところである。

今お話の薬の注文取りまとめのような例は以前にもあったので、現在は一切取扱っていないつもりである。どの方面から流れたものかよく調査してみたい。

町内会の名簿を業者から要望されても、町内会長の総会で、この種の要望には応じない旨決議されていることを文書で知らせ、お断りしているところである。今後まぎらわしいものは配布しないように心掛けたい。

特殊物以外
ほとんど町内

伊藤管財課長



町の方針を説明する町長

町内からの物品購入の件については、年々町内から購入する額が増えてきている。ただ、特殊な品物で、どうしても町内から調達できない場合は、町外から求めなければならない。その他一般消耗品、文具等については、ほとんど町内から調達している。一般備品についても、よく町内業者と話し合いながら、価格の面で、町外業者と均衡がとれるように努力していきたい。

町道に編入してほしい

伊藤 清蔵(台・御蔵下)

五十三年度のモデル事業で、台部落の集落排水を整

備していただき感謝しているところである。

土地を提供するので、圃場整備した農道を広域林道に結び、舗装して町道に編入してほしい。

一関建設課長

町道に認定する場合は、土地を提供していただくこと、道路の幅が四メートル以上必要なことである。

また認定する場合は、議会の承認が必要なので、今後みなさんとよく話し合いの上、書類提出や現場調査をしたい。

館岡 春男(上高崎)

境界杭(くい)が引き抜かれて道路に敷かれておる状態なので、建設課で調査してほしい。

一関建設課長

早速現地を調査してみたい。そのときは現場の案内をお願いしたい。

除雪車の通れる

通学路がほしい

佐々木忠雄(恋地)

恋地・坊井地方面から杉沢中学校に通う通学路は非常に狭く夏分も長くつでなければ歩けない状態である。冬期間の難儀は大変なもので、朝早くから父兄たちが出勤して除雪しながら通学路を確保している。除雪車の通れるよう

な道路に早急に補修してほしい。

なお、保育所の子どもたちはバスを利用して雨が雨の日などは頭からスッポリぬれてバスを待っている状態なので、屋根のあるバス待合所を作っていただきたい。

モデル事業で、

一部今年度着工

渡部産業建設部長

恋地、坊井地集落からの通学路については、杉沢小学校西側の入口まで、モデル事業で整備する計画をもっている。

五十五年度は杉沢の上の方から施工する計画であるが、その続きいわゆる学校前を通って西口までは、営林署の土場の問題、あるいは、小学校の将来的な問題等も含まれているので、具体的にはまだ結論をみておらないところである。いづれ引き続き整備をしていく計画になっている。

松橋教育長

バス待合所の件については、学校側ともよく相談しながら検討していきたいと思っている。

通学路は復活するのか

笹川 哲男(下樋口)

農村環境改善センターを建設したため、通学路がなくなっている。そのため児童・生徒や保育園児は、下樋口部落内道路をう「路



町内でかかえている問題を真剣に討議

作か事故が起きてからでは遅いので、電柱も用意しているが二灯の街灯がほしいと思っている。

明るく安全な生活道路を早急に確保してもらいたい。

早めに要望に応えたい

伊藤管財課長

下検討したときは全く電柱が立っておられない場所であった。申請するとすれば、お説のように電柱を用意していただくことになるが東北電力ともよく話し合いをしなからでざる限り今年度の予算で早目に措置したいと思うので、申請書に略図を添付して管財課の方へ提出してほしい。

この機会にみなさんからの協力をお願いしたい。それは、日中でも電灯がともっている街灯があったら、電柱番号で結構なので管財課の方へお知らせいただきたい。

新住宅地域に配慮を

佐藤 良治(西野)

五城目・八郎瀧線分岐点から五高新校舎間に、新しい住宅が四戸建設されている。一戸は西野部落の所

属になっているので、配布物は直接配布しているが、あとの三戸は選挙のときだけ取り扱っている。

矢場崎町内でありながら西野まで投票にこなればならない状態である。事

務的に善処して便ぎをはかってあげられないものか。

選挙関係でも

検討してみたい

小玉総務部長

今のところは、佐藤さんが言われたように、選挙以外は矢場崎町内からみてもらっている。選挙関係は正確を期する意味で住民票に基づいた選挙人名簿で処理している現状である。しかし今後住宅が増加するに従って同じような問題が出てくると思われるので、選挙の方でも変更できないものかどうか検討していきたい。

ぜひ防火用水池がほしい

山田 佐市(広ヶ野)

私たちの町内は非常に高台にあり、年々戸数も増えているので、いざ火災等のことを考えると非常に不安である。ぜひ防火用水池を設けてくださるようお願いしたい。加えて消防対策を。

消火栓・プールなど

併用したい

佐藤消防署長

貯火用水池の構想はもっているが、何年になるかは、今後の検討事項である。対策については、消火栓五一中プール、農業用堤などあるので、これを併用して防災に当りたい。

山田 佐市

消火栓は確かにあるが高台なるが故に日常の家庭用水でさえも不足な状態なので、いざというときに果して消火栓が十分に機能できるか不安である。

プールからは二〇〇m.

消火栓は一五〇m. 下山内の農業用水池は一五〇m.のところであり、遠いところに住宅が密集している。後日改めて文書で陳情するが、是非この密集地帯に防火用水池を設けてくださるよう要望したい。

金子重太郎(紀久栄町)

身障者の級は、手帳によるものか年金支給の級によって決めているか。

一関民生部長

身体障害者手帳によって級を決めている。

武田 伝蔵(高崎)

高崎・広ヶ野線を整備する際、途中のサイカチ部落内道路も整備してほしい。中泉田地区の用排水路と公民館前のバス待合所を整備してほしい。

集落内拡張は

用地確保が先決

一関建設課長

高崎、広ヶ野線は、五十四年度

着工、五十七年度完成の予定である。サイカチ部落内道路については、前にもお話ししてあるように、その集落で用地を確保の上提供していただくことになるので、その点部落内で話し合いをしてほしい。

渡部産業建設部長

中泉田の用排水路については、実態をよくみてから対処したいと思う。

松橋教育長

バス待合所については管理不行届きで申し訳なく思っている。早速修繕するように配慮したい。

会合に利用できる

バス時間を

嶋崎 誠悦(下樋口)

各種団体の午後の集会にくるとき、ほとんどの人がバスを利用したいのだが、バス時間が午後二時十六分となっており、利用できない時間帯である。もしでき得たら午後一時から一時三十分の会合開始時間に間に合うような時間に改正していただくようお願いしたい。

小玉総務部長

中央交通の方へよくお願いしてみたいと思う。

馬場目川えん堤に

桜の木を

伊藤 建一(大川)

堤防を散策路として利用

する人が年々増えているが、その堤防をいくらでもきれいにしたいと、部落をあげて清掃に取り組んでいるところである。

よりよい散策路いこの場にすするため、もう一歩すすめて、大川の神社のところから船付場まで桜を植樹したらどうだろうかと話しあっているが、お願いできないものだろうか。

法的には
規制されている

一関建設課長

二級河川は県が管理している。本町の二級河川は、馬場目川、富津内川、内川、滝ノ下川となっている。

堤防に桜の木を植えることについて、河川管理法から言うと、堤防には植樹できないことになっている。堤防の外側に余地がある場合は、そこには植樹してもよいことになっている。

堤防の活用については、町でも自転車道路等を作っていただけなものかと思きかけているところであるが、補助事業としては道路としての専用許可をとって、その道路に安全施設整備計画をも

っていないものは補助対象にならないことが、四十六年度に決定されている。大規模自転車道にするには二〇キロ以上が必要である。

従って現在のところは、補助対象事業に取り上げていただけないような状態であるが、今後何らかの事業で取り上げていただきたいものだと願っております。

早目に舗装してほしい

佐々木 鉄太郎(寺庭)

寺庭・中村線の拡幅改良工事には感謝しているところであるが、早目に舗装してほしい。

その際、街灯もぜひ新設していただきたい。

一関建設課長

寺庭・中村線は五十五年度で舗装する計画をもっている。できるだけ早く着工したいと思っているが、六月に入ると思う。

伊藤管財課長

街灯については、五十四年度に申請が出ているようなので、今年度の予算で配慮したい。

文化財の

保護対策を早く

石井 鉄雄(帝釈寺)

当部落にある文化財のために標柱を立ててほしい。

文化財(杉)の保護対策についても以前からお願いしているところであるが、杉の木の先が枯れている状態なので、早目に調査していただきたい。

県当局に

申し入れているが

阿部省館運動公園事務局長

標柱については、順を追ってやっているが、帝釈寺関係については、五十四年度予算で計画しているので、間もなく立てる予定になっている。

文化財の保護対策については、

道路拡張や舗装などの関係が深いものとみられるので、建設課をとおして、県当局にお願いしているところである。

私のできる範囲で早目に対処したいと思っている。

中央線はなぜ

利用できないか

一関 立見(久保)

中央線の一部ができて非常に立派な道路だとみているが、また利用できないのはどうしたわけか。未改修部分の道路脇に移転家

屋の残がいがあり、町の中心が汚れてみえ、あまり感じのよいものではない。早く整理できないものか。

なお、地区公民館のごみを、町の方で処理できないものか。

石井 備整課長

新設道路の使用については、県公安委員会と協議することになっている。まだ通れないことについては、バスターミナルすぎから、警察署方面の道路に結びついてから使用することになっているが、この間については、今年度工事がなっているもので、早目に使用できるように、またえびや小路どおりの残がいの処理については、県当局へ要望していきたい。

一関民生部長

ごみ処理については月三回収集しているところである。

てほしい。その外に会合などでごみの出た場合は役場の方へご連絡いただきたい。

司 会

町長から最後に感想を述べていただき、まとめにしたいと思う。

同意を得て

区画整理を先行

町 長

町では、家が建てられる前に、区画整理を先行したいと考えている。区画整理を先行したいと考えている。区画整理を先行したいと考えている。区画整理を先行したいと考えている。

バス路線を再検討

バス路線については、町中にある施設や道路の整備状況等を勘案しながら再検討の段階に入っている。その点をお考えいただきたい。

小さいときから足腰を

相撲場を作ったが、これは、最近、若い方々の背は伸びているが、体力、気力を支えている足腰に問題があるので、その解決に役立てばと思っている。五城目のスポーツがある一線を越えることのできないのも、体力の基礎づくりにかが欠けているのではないかと考え、小さいうちから足腰を丈夫にする方向で、教育委員会にもお願いしているところである。

ものを大切に
する心を養う

給食の食器の改善は、テレビなどで取り上げられているが、これは見栄などではなく、はしは脳の働きや発達に関連があると思われるし、われものに対する心の配りから、ものを大切にすることを培う。アルミの場合、熱いものをいれるとおいたまま背を丸くして食べ、姿勢の面で問題があるなど、教委から検討してもらいながら実施している。

植樹後の問題を

検討の上

堤防の桜は、法律から言えば植えられないが、植えている実例もある。何かの手はずで実現できると思われる。桜を植えた後、その付近の田畑所有者や管理の問題等がでてくるので、地元でよくご検討の上またお申し出いただきたい。大変よいご提案だと思う。

(おわり)

不動産取得税の改正

住宅や住宅用土地の取得に対して課税される不動産取得税の軽減措置が、四月一日から次のとおり改正されました。

従来までは、住宅の建築については一律に一戸当り三百五十万円(税額で十万五千元)を控除する特例が認められていたが、今回の改正により住宅の床面積が百六十五平方メートル以下で、かつ評価額が一平方メートル当り八万七千円以下である住宅に限り認められることになりました。

簡易郵便局を一時閉鎖

西野簡易郵便局事務取扱者、佐藤喜美江病氣療養のため、昭和五十五年五月七日より、当分の間業務を休止しています。

大川地区の方々には大変ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、再開の期日は町広報でお知らせします。

電話 秋田 六〇一三三二〇
六〇一三三二一

春の

叙勲受章 町から二人

消防の功績認められる

☆五十五年春の生存者叙勲の受章者は…☆

☆四月二十九日に発表された。………☆

☆秋田県関係の受章者は五十九人である…☆

☆…た。当町からは、消防の分野で功…☆

☆…績のあった八柳新之丞さんと石井祐…☆

☆…太郎さんが晴れの受章に輝いた。……☆

☆…受章者は五月十五日、東京大手町…☆

☆…日経ホールで行われる消防式典に出…☆

☆…席した後、皇居において天皇陛下の…☆

☆…拝えつを賜ることになっている。……☆

勲六等瑞宝章

八柳新之丞(62) 大川

昭和十四年に大川村消防団員となり、その卓越した消防技術と積極的な行動力が高く評価され、三十二年に副分団長、四十一年には



分団長に抜てきされた。

消防団入団以来四十年以上におたり、消防人としての信念に従って精励し、消防団、消防団と消防組織の変遷を体験している。

その間、自からの経験と努力で得た豊富な知識と消防技術を駆使し、消防力の強化、部下団員の指導育成、消防技術の向上に努めている。

火災が発生した場合は、他の模範となるような行動をとり、その適切な指揮によって、被害を最少限にとどめた。

三十二年に大川の分町問題がおこったとき、副分団長の地位にあったが、分団長代理として陣頭指揮にあたった。住民投票終了まで昼夜の別なく消防舎に勤務、町内の巡視警戒にあたり、地域住民の不安感を取り除くことに努めた。

また、分団区域内の下樋口部落少年夜警団の育成指導に力を注いだ。同少年夜警団は、四十七年に秋田県知事表彰を受けている。

勲七等青色桐葉章

石井祐太郎(60) 黒土

昭和十四年に内川村消防組消防手となり、五十一年に消防団を退いた。その間、消防組、消防団、消防団と消防組織の変遷をす



べて体験している。

消防人の信念のもとに精励し、

部下団員の指導育成、消防技術の向上に努めるとともに消防施設の整備にも力を注いだ。また防火思想の普及に力を尽し、災害発生においては、他の模範となる活躍をしている。

消防手になって以来三十七年間

消防の任務を深く自覚し、火災の

ない平和な部落づくりを推し進め

た業績は大きい。消防と部落民が

一体となり、夜警団の巡回、少年

夜警団の育成、現在の火災予防組

合の結成など、時代に即した火災

思想の普及に尽している。四十八

年、その功労が認められ、黒土火

災予防組合が秋田県知事表彰に輝

いている。

小玉さん

厚生大臣から

表彰を受ける

恋地の小玉久治郎(七〇)さんは、昭和二十八年から町の民生児童委員として活躍すること二十六

年二月になるが、五月七日、秋田市の平安閣で行われた「民生委



員、児童委員厚生大臣表彰式」の席上、野呂恭一厚生大臣から長年の功績を称えられて特別表彰され

た。この町から、民生児童委員で大臣表彰を受けている方は、遊佐武氏、田中四郎氏について三人目であるが、現職で表彰されたのは小玉さんが初めてである。

経歴と功績概要は次のとおり。

経歴概要

昭和28年12月、現在

民生委員、児童委員

昭和20年4月、36年3月、部落長

昭和32年4月、44年9月

選挙管理委員

昭和44年4月、現在

社協世帯更生資金貸付調査委員

昭和45年4月、現在

社会福祉協議会理事兼評議員

昭和47年4月、現在

善意銀行運営委員

功績概要

①昭和40年12月より民生児童委員

地区長として活躍

②昭和46年12月より民生児童委員

副総務として活躍

③社会福祉に熱意あり厚生指導面

に尽力

④地域住民の信望が厚い

表彰歴

昭和48年10月22日

知事表彰(社会福祉功労)

社会教育関係

各委員決まる

◆社会教育委員会委員 定数七名

▽第一号委員(各学校の長)

小松 正直

五城目第一中学校長

▽第二号委員(社会教育関係団体の代表者)

伊藤 花美

五城目婦人会連絡協議会長

小玉 哲司

五城目町連合青年会長

▽第三号委員(学識経験者)

本間 作治

小林 富蔵

渡辺 誠之助

武内 俊雄

◆五城目町公民館運営審議会委員 (定数十八名以内)

▽第一号委員(各学校の長)

堀 彦一郎 五城目小学校長

石井 有保 馬場目小学校長

村井 金作 杉沢小学校長

伊藤 宗三 富津内小学校長

金 タエ 内川小学校長

斎藤 静夫 大川小学校長

▽第二号委員(各機関団体の長)

安達 悦郎 五城目町体育協会代表

佐々木 久米雄 五城目町PTA連合会長

安東 誠 五城目町芸術文化協会会長

佐藤 幸 五城目町農協婦人部長

伊藤 万亀子 五城目町若妻会連絡協議会長

荒川 レン 五城目町商工会婦人部長

▽第三号委員(学識経験者)

柳 原 繁 五城目町交通指導隊長

佐藤 勝太郎 五城目町老人クラブ連合会長

今村 房蔵 五城目町幼稚園長

中村 清次郎 五城目町生涯教育

千 葉 六郎 奨励員連絡協議会長

金 田 喜三郎 五城目町社会福祉協議会

五城目保育園長 専門員

◆体育指導委員会委員 (定数十名以内)

宮川 庄太郎 農業 帝釈寺

荒川 要悦 商業 築地町

大石 喜朗 教員 下山内

佐藤 俊郎 公務員 中村

館岡 昭雄 団体職員 高崎

貝田 日出子 商業 一番町

伊藤 令子 主婦 大川二区

石井 勝博 農業 黒土

荒川 達雄 商業 畑町

加藤 政光 自営業 畑町

◆五城目町公民館分館長

五城目 小川 秀雄 中川原

馬場目 三浦 俊蔵 高崎

森 山 大宮 豊蔵 浦横町

馬場目 石井 悦郎 寺庭

富津内 阿部 昭 富田

内川 松橋 良治 浅見内

大川 佐藤 西野

◆五城目町公民館分館

主事 五城目 渡辺 正志 長保町

馬場目 一関 正見 岡本二区

森 山 永沢 繁明 下山村

馬場目 石井 忠光 浅見内

富津内 小林 正志 西野

内川 猿田 悦雄 耕一

大川 金子 長保町

主事補 五城目 鍋谷 鶴芳 長保町

馬場目 中村 司 岩野

馬場目 伊藤 誠 浦横町

馬場目 小玉 嘉典 帝釈寺

馬場目 草薅 純光 坊井地

馬場目 伊藤 俊悦 湯ノ又

富津内 伊藤 俊悦 湯ノ又

大川 沢田 石栄一 大川四区

◆生涯教育奨励員

中村 清次郎 新田町

小野 正二 高崎

小玉 勇悦 湯ノ又

松橋 武 新田町

伊藤 定辰 下山村

伊藤 容一郎 黒土

伊藤 美喜夫 杉沢

伊藤 久夫 黒土

石川 信哉 大川四区

加藤 英俊 浦横町

北嶋 卓美 下山村

工藤 妙子 館岡

斎藤 妙子 館岡

藤井 シガ 古川

泉井 弘子 昭辰町

石井 三千代 御蔵下

一草 関 帝釈寺

内川 台

江藤慎一のガッツ野球教室

5月24日 運動公園広場で



五月二十四日(土)午後二時から、雀館運動公園広場で、江藤慎一「ガッツ野球教室」が、教育委員会主催で開かれる。

江藤氏は、野球ファンならご存じの強打者で、昭和三十九年、四十年セ・リーグ連続首位打者獲得

まで遠征して青少年野球の指導に飛び歩いているが、これは健全な青少年の育成はスポーツからだとして情熱を注いでいる。

小、中学生野球教室の日程
一、日 時
五月二十四日午後二時から

二、場所 公園広場、第二体育館
三、対象 象小、中学生
四、その他
午後二時十分～四時実技指導、五時までミーティング

参加する方は、ユニホームまたはトレーニングウェアを着用し、野球用具持参の上、一時三十分までに運動公園広場に集合のこと。この企画はモリヤマ企画の提供である。

町内部落の運動会などに
広域体育館を無料開放

町内のみなさんの健康と、体力づくりに役立ててもらうために、広域体育館を町内部落会が主催する運動会やレクリエーションなどの集いに、無料で開放します。夜の使用も可能です。

ただし、一町内部落会について一回限りとなります。また、社会体育行事が組まれている日や、その他の体育大会、行事がある日は使用できません。

②健康状態
心身が健康で協調性に富み、規律ある団体生活ができる者。

③農業実務経験
就農後少なくとも実務経験二年以上で、現在集落農場化等生産集団の中核者であること。また、地域農業振興に中核的役割を果たしうると認められる農業青年であること。

欠格条件
大学(短期大学含む)等に在学中の者(勤労学生を除く)
申し込み先・問い合わせ先
役場産業課
申し込み期限 五月三十一日

食品衛生関係者へ
換便の集管は二十五日です

五月十三日、食品衛生関係者へ業態者換便のため配管しているが、五月二十日はその集管日なので、関係者はもれなく提出してください。食品衛生指導員部会で呼びかけている。

食品衛生関係者は、お客相手の商売であるところから、常に身のまわりを清潔にして、病原菌の発生が疑われるようなことのないように、くれぐれも注意が必要などころである。

関係者はこのことをよく認識の上、全面的な協力をお願いしたい。

転作の資金を 無利子で借られます

同四十六年には史上初のセ・パ両リーグの首位打者となり、四十八年には、満塁ホームラン日本記録を樹立している。

五十一年ロッテオリオンズを最後に現役引退し、五十二年からは世界青少年野球友好会を設立その代表となっている。

日本国内はもちろん、ブラジル

県では転作を行う農業者や、農業者で組織する団体に對して、転作に必要な資金の貸付けを行っています。

借入れを希望する方は、貸付認定申請書に事業計画書と計画事業費の見積書を添付し、農協または各金融機関に提出してください。貸付認定申請書などの用紙は、金融機関に備え付けてあります。不明な点は、役場産業課または

金融機関へお問い合わせください。

▽対象事業
排水事業および客土事業
土壌改良資材購入
転作用農業機械の購入
乾燥および育苗施設の取得
転作用生産資材の購入

※転作をするために必要な事業であること。

日中友好秋田県農業青年の翼
団員を募集

県では、「日中友好秋田県農業青年の翼」の団員を募集しています。募集内容は次のとおりです。

・訪問先 中華人民共和国(北京・大連・西安・南京・上海)

・期 日 昭和55年8月13日～8月26日
・経費 個人負担 十七万八千円
・応募資格 ①国籍、年齢 日本国籍を有し、秋田県内に居住している者。五十五年四月一日現在二十歳以上三十歳未満の男女。配偶者の有無は問わない。

八八七開校記念植樹
富津内小中学校長室便りから

富津内中学校の生徒たちは、五月一日の開校記念日に、校舎うら傾斜地にハギ(洋種)とドングンを植えた。

この植樹を「八八七開校記念植樹事業」と呼ぶことにして、これから八八七本に達するまで続けることにしている。

温水プール休館お知らせ

五月二十六日(月)から三十一日(土)まで補修工事のため休館いたします。

六月一日からは、いつものとおり開館しますのでご利用ください。

公 告

都市計画(昭和四十三年法律第一〇〇号)第六十二条第一項の規定により、秋田県知事から都市計画事業認可の図書の送付があったので、都市計画法施行規則第四十九条の規定に基づき次のとおり公告する。

②事業施行期間
昭和五十五年度から
昭和五十九年度まで

③事業地
五城目町上樋口字切通、堂社、横の木

④縦覧場所
五城目町高崎字雀館
下川原六四一四

▽貸付限度額
・個人の場合 三十万円
(特認の場合 五十万円)
・団体の場合 百五十万円
(特認の場合 二百万円)

▽申し込み期限
・第一回 五月二十日
・第二回 七月十五日
・第三回 九月十五日

五城目都市計画街路、雀館線、他一

昭和三十五年五月十五日
五城目町長 加賀谷 力司

ボーイスカウト秋田第30団 隊員募集

人のお世わをするように!!
人のお世わにならぬよう!!
そして報いを求めぬように!!

◆年令・資格 小学校3年・4年
五城目町在住の男子
◆締切 5月31日まで
◆申し込み先
五城目小学校内 小浜勝司先生
五城目電話局内 川辺 末吉
☎ (01885) ②-2000
☎ (01885) ②-3810

良質米栽培技術

低温時の移植を避け活着を早める

昨年は、五月十二日から十九日まで、低温、寒風で植込みが大きい、茎数、穂数不足による減収、検査等級の低下した例が数多くありました。

移植を中心とした適正な管理で活着を促進し、なるべく早く分けつ茎を確保できれば、田植機稲作の収量、品質は著しく向上します。

△移植時の注意点と

本田初期の水管理▽

○移植時期

湖東部では、五月七日から二十日までが移植の適期ですが、低温寒風時の移植は絶対に行わないことです。育苗期間が長くなり、苗の老化程度が大きくなるような場合は、早目に移植します。特にアキユタカは移植時の低温に弱く、また苗代期においては、苗の老化に注意してください。

○移植株数・植付深さ・植付本数

田植機稲作の株数は、三・三方メートル（一坪）当たり八十株から八十五株にします。ただし「あとでき」する水田やササニシキは七十五株が妥当でしょう。

植付け深さは一センチメートルから三センチメートルの範囲にします。深植は初期生育が著しく遅れます。

一株植付本数は四本から六本をメドにします。

―例―

・山間水田、砂質水田
・キユタカ

・トヨニシキ
・キヨニシキ

・三・三方メートル当り 八十から八十五株とし、一株をやや「多苗」にする

・あとできする水田

・ササニシキ

・三・三方メートル当り七十五株程度とし、一株をやや「小苗」にする。

○植え付け状態と水管理

植え付けはなるべく「ツメ」の「かきとり」を大きくして、一株の植付苗が、バラバラする感じの「疎」の状態に移植すると分けつ茎も太く、穂ぞろいも良くなります。そのためにも厚まきはやめ移植時に育苗箱を縦について、苗をつめないようにします。

移植後は必ず水を満たすようにします。浮苗を心配して、移植後に水を入れない水田も見られますが、地温が上らず、活着が遅れます。苗丈の二分一程度の水深にします。

△初期除草剤▽

山間、山沿地帯の水田を中心に現在の除草剤では除草できない雑草がふえています。また除草剤の使い方が悪いために、効果が不十分で雑草に被害を出している例もかなりあります。初期使用除草剤はヒエを対象にして散布します。

▽種類と使い方

・X52粒（エックス、ゴーニ）
薬害も少なく、効果の期間も

割合長い、ヒエの多い水田で使用する。

・MO粒（エム・オー）

薬害は少ないが、効果の期間は短い。七日から十四日間隔で二回使用しても良い。ヒエが対象。

・ロンスター乳剤

効果は大きい、粗悪苗や漏水田、還元田では薬害も出やすい。前年雑草発生が多く、薬害の心配がない水田に使用する。

・ショーロンM粒

・マーツェット粒

ヒエを対象に効果も大きい、山間地や漏水田、還元田では薬害が出やすい。

▽効かせ方

使用後は水田を乾かさないうちに注意します。従って、水田の高い部分は効果も劣ります。

効果の劣るMO粒は、やや多目に使用します。動力散粉機の場合、風のないときを見はからって均一に散布します。

・昭和農業改良普及事業推進協議会

・五城目町

農業総合指導センター

和牛導入農家に援助

利息を国と町が負担

町では、稲作プラス和牛の複合経営を奨励しています。

昭和四十九年七頭、五十年三頭、五十二年二頭を農業近代化資金の利子補給で、五十二年二十頭、五十四年二十五頭を、国の家畜導入事業にのせて導入しています。

○繁殖と牛の導入方法

△繁殖と牛の導入希望農家は、家畜導入申請書および畜産経営計画書を農業協同組合長に提出しなければならぬ。
△農業者は、役場および農協と連絡をとりながら、経済連の指定する家畜市場で購入する。
△事業主体は、秋田県畜産開発公社で、県経済連に委託して行われる。導入した牛は公社から農家に五年間貸付し（限度額三十万円）六年度に農家は元金を公社に返済する。（その間の利子は国と町で支払う）また、三十万円をこえる額は、本人が負担する。
△導入牛の市場からの運搬および経費は本人の責任と負担とする。

○繁殖と牛の導入条件

導入を受けること
△六年度（昭和五十九年）に導入

牛の元金を公社に支払わなければならないが、これを容易に遂行するために、償還計画表に基づき積立てをすること。

▽元金返済までは、本人の牛ではないこと。したがってその間の事故等による牛の措置については、町および農協共済に相談して処理すること。

△各自、家計および農業経営計画を立てながら増頭に努めること。
△導入したことに伴い、既存の牛を売ることは原則としてやめること。やむをえない事情の場合は町および農協に相談しておこなう。その代金は更新のための導入資金とするか、導入牛の元金返済のための積立てをすること。

△導入した牛は、必ず家畜共済に加入しなければならぬこと。

△繁殖と牛の飼育技術や濃厚飼料の購入等については、農協へ相談すること。また、飼育経費の節減を図るため、自給飼料の確保に努めること。

△和牛の病気等については、農業共済組合に相談して、獣医に依頼をすること。

△積立金の徴収および預金等の事務については、農協が行う。

中小家畜の飼育に助成金

「豚、やぎ、めんよう」にわとり

町では「豚」「やぎ」「めんよう」および「にわとり」を飼育しようとしている人に助成金を交付します。

これは、稲作の副産物である小糠（こぬか）やクズ米、家庭の残飯や野菜などの有効利用によるムダのない農村生活と、自給意識に資する食生活の改善を推進するための事業です。また老人の生きがいと子どもたちの情操育成を図りながら、のどかで、うるおいのある農村づくりを目指すものです。

▽対象者

町内に居住する農業者（ただし、六十歳以上のお年よりおよび小、中学生が飼育する場合優先する）

▽交付申請の方法

役場産業課にある申請書に所定事項を記入して農業協同組合に提出する。

▽申請期限 六月末日

飼育する家畜の条件と助成金額は次のとおりです。

▽豚 一頭当り 四千元

原則として繁殖させるためのもので、六カ月齢以上、十二カ月齢未満のもの。

▽やぎ 一頭当り 六千元

原則として繁殖させるためのもので、六カ月齢程度

▽めんよう 一頭当り 二万三千元

原則として繁殖させるためのもので、六カ月齢程度

※頭数はいずれも一農家二頭まで

▽にわとり

原則として肉卵兼用種（ゼンタック種、ブルモスロック、比内どり）の中ビナとする。オスメスは問わない。

助成の対象は、いわゆる「地どり」と称する（放し飼いのものとし、鶏舎の資材費として助成金を交付する）。

・十羽以上二十羽未満 五千元

・二十羽以上三十羽未満 七千五百円

・三十羽以上 一万円

※家畜の購入は、農業協同組合を経由して行なう。

県中学校庭球春季大会

五一中危なげなく優勝

第五回秋田県中学校軟式庭球春季大会は、五月三日、秋田市営八橋庭球コートで行われた。

当町からは五城目第一中学校の男子チームが参加し、危なげなく勝ち方で優勝した。

競技は参加十六校がトーナメント方式で、ダブルス二試合を戦って進められた。五一中からは、館岡・斎藤健組と金子悟・佐藤貴組が出場した。

競技の結果は次のとおり

- 一回戦 五一中2-0金沢中
- 二回戦 五一中2-0大館東中
- 準決勝 五一中2-0秋大附中
- 決勝 五一中2-0二ツ井中

春季大会に優勝して

庭球部男子監督 佐藤市之助

「優勝旗は意外に重かった」というのが、主将館岡の受賞の感想であった。試合が楽に展開していただけに、その優勝決定の瞬間の喜びは少なかつた。そうであったからこそ、全県一の座の重みが、旗から伝わってきたのであろう。

一回戦、対金沢中、二回戦、対大館東中、準決勝、対秋大附中は実力差もあり、安定した試合ぶりで勝った。

決勝の相手は、優勝候補の筆頭にあげられていた二ツ井中で、三組とも安定した力を持っていると聞いていた。しかし

それはこちらも同じこと、「オラホのデニスをやろう」と話しておく。敵の弱点をつく作戦は、こちらのペースを狂わせる。

優勝旗を手にした五一中庭球部のみなさん

第一試合、実力にまさる金子・佐藤組はたちまち三ゲーム連取する。あと一ゲームのところ、気のゆるみからか、三ゲームあげられ、最終ゲームに持ち込まれる。

ジュース二回で、ようやくくものした第二試合、館岡・斎藤組は、サブゲーム

か、つ落としたが、レシーブは確実にものにできて、気持ちのうえでは割に楽に勝つことができた。地平線の彼方に、かすかに見えていた優勝旗が、ひたすらボールを打ち返していたら、足下にきていたというのが、実感であった。二カ月後、夏の大会が待っている。

高松宮杯レスリング

光星学園 二度目の栄冠

第十九回高松宮杯東北高校選抜レスリング大会は、四月二十七日広域体育館で、東北各県から九校が参加して行われた。

同大会は毎年、当町を会場に行われているもので、秋田県からは五城目高校、秋田商業高校、秋田経大附属高校が参加した。

試合は七階級について行われ、トーナメント方式で進められた。地元五城目高校は、二回戦で青森県代表の光星学園高校と対戦し、56kg級と60kg級の二階級を制しただけで敗退した。秋田商業は一回戦で山形商業に4対3で敗れた。

決勝は秋田経大附属と光星学園の対戦となった。光星学園は各階級に力のある選手がそろっており、秋田経大附属を5対2で圧倒し、五十二年に続いて二度目の優勝となった。

試合結果は次のとおり

一回戦

山形商業 4-3 秋田商業

二回戦

光星学園 5-2 五城目高 (青森)
秋田大附 5-2 仙台育英 (宮城)

勝ち抜いた者にしか与えられない、この座の重みをずしりと受け止め、これを足場にさらに確かなテニスの力を育てていきたい。省館運動公園という恵まれた練習の場を得て、選手たちは、昨日よりは今日、確実に力をつけてきている。

東北工大 電子工業 5-2 宮古水産 (岩手)

山形商業 6-1 田島 (福島)

準決勝

光星学園 7-0 東北電子工

秋田大附 6-1 山形商業

三位決定戦 東北電子工 4-3 山形商業

決勝 光星学園 5-2 秋田大附

湖東部四力町村ゲートボール

十六チームが参加

四月二十九日、省館運動公園広場で、湖東部四力町村高齢者ゲートボール大会が行われた。

南秋中学春季大会

五一中六競技に団体優勝

南秋田郡中学校春季大会は、四月二十八日、三十日、南秋の八会場に分かれて十一種目に熱戦を展開した。

同大会で五城目第一中学校は、団体で六競技に優勝、三競技に準優勝の成績を収めた。また、個人の部でも六選手が優勝した。野球の決勝戦は、五月十五日に八郎潟中学校グラウンドで行われ

トボール大会が行われた。これは、川端会館ゲートボールクラブ(会長佐藤久之助)が主催したもので、町内から十チーム、井川町、八郎潟町、大湯村からそれぞれ二チームが参加した。

試合は、参加十六チームを四コトに分けて行われた。一チームが四ゲームを戦い、成績のよかつた四チームで決勝戦を行った。

その結果、大川Bチームがみごと優勝し、町長杯を獲得した。準優勝は八郎潟Aチーム、三位は馬川チームであった。また、奨励賞は一ゲーム最高得点の四十七点をマークした大湯Bチームに与えられた。

この大会を主催した川端会館の会長である佐藤久之助さんは「初めての大会に、こんなに多くのチームが参加するとは思っていません。競技の進め方や内容を検討し、さらにrippな大会にしたい」と意欲を語っていた。

また「今年の秋には、二回目の大会を開きたいと思っている。それまでに優勝旗を準備するつもりでいる」とも話していた。

国税専門官募集

受け付け期間 五月十四日～五月二十二日
受験資格 昭和二十八年四月二日～三十四年四月一日生まれの者

詳しいことについては北税務署 総務係 018845-1161 に問い合わせください。

卓球 千田 博幸
庭球 斎藤 館岡組

団体準優勝 体操女子、剣道女子、庭球女子

個人準優勝

体操 嶋山 武
剣道(女子) 畑沢えり子
剣道(女子) 村上 学

卓球(女子) 小玉智津子

卓球(女子) 小玉 敬子

庭球 佐藤・金子組



6月 ゴミ収集日

町内名	65年 6 月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	2	7	13	20	26	
希望ヶ丘	2	7	13	20	26	
田町	2	7	13	20	26	
上田町	2	7	13	20	26	
今田町	2	7	13	20	26	
御蔵町	2	7	13	20	26	
小池町	2	7	13	20	26	
川原町	2	7	13	20	26	
新番町	3	10	16	21	27	
古川町	3	10	16	21	27	
紀久栄町	3	10	16	21	27	
中川原町	3	10	16	21	27	
館崎町	3	10	16	21	27	
岩城町	3	10	16	21	27	
築地町	5	11	17	22	29	
畑崎町	5	11	17	22	29	
新畑崎町	5	11	17	22	29	
仲長町	6	12	18	25	30	
米沢町	6	12	18	25	30	
雀館町	6	12	18	25	30	
昭辰町	6	12	18	25	30	
大川一區	6	12	18	25	30	
二區	6	12	18	25	30	
三區	6	12	18	25	30	
四區	6	12	18	25	30	
馬場目	4	14	24			
富津内	4	14	24			
内川	4	14	24			
大川以外	9	19	29			
本村の部落	9	19	29			
面湯川	9	19	29			
馬場川	9	19	29			

◎ 直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電話 ② 3958)

< 直接搬入料 >

2トン未満	1回につき	6000円
2～4トン未満	1回につき	9000円
4トン以上	1回につき	13500円

※ 収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見てください。



▽即売場
五城目種苗事業所
井川町字綱木沢
(通称「営林署の苗圃」)
「井川の苗圃」などと呼ばれているところ
▽時 間 午前9時～午後3時
▽即売樹木
・銘木 ナナカマド
・ナシハゼ 外
一本 二千元～一万五千元

▽即売日 5月17日(土)
24日(土)
30日(金)
6月6日(金)
13日(金)
20日(金)
27日(金)

五城目営林署では、五月と六月に緑化樹木の即売を行います。

緑化樹木の即売

※詳しいことは五城目営林署へお問い合わせください。

善意銀行預託者

・四月十七日 三千円 高崎 匿名
(年金の一部を寄附したもの)
・四月十九日 三万円 古川町 今野昭一郎
(旧米沢町)
(亡父嘉助様の香典返しとして)
・四月二十一日 三万円 上樋口 猿田良之助
(亡母フクエ様の香典返しとして)
・四月二十八日 二万円 田町 鷺谷不二雄
(亡母ヤエ様の香典返しとして)
・四月三十日 二万円 西野 加藤 喜市
(亡父喜蔵様の香典返しとして)



【おしらせ】

成人病検診

申し込みは20日まで

…循環器・胃部・婦人病…

成人病検診(循環器、胃部、婦人病)の受診希望の申し込みを受け付けています。

成人病予防の基本は早期発見、早期治療です。自分の健康は自分で守るという積極的な気持ちで、多くの方が受診されるようお願いいたします。

▽受診料金

・循環器 自己負担 七〇〇円
町補助 一四〇〇円
・胃部 自己負担 六〇〇円
町補助 一二〇〇円
・婦人病 自己負担 五〇〇円
町補助 一一〇〇円

(電話での申し込みも受け付けます)

▽申し込み期限 5月20日(火)
▽申し込み先 役場保健衛生課
健康づくり推進員

循環器検診は六月十六日から、胃部検診は七月十四日から、婦人病検診は七月二十二日から、地区ごとに行う予定ですが、受診申し込み者には、実施日程等の個人通知を郵送します。
受診料金の半額以上を町が補助します。

一歳六カ月児健診は 27日

一歳六カ月児健康診査を次のとおり行います。役場から通知のあったお子さんは、必ず受診してください。

日 時 5月27日(火) 午後一時～

・場所 広域体育館二階予備室
・医師 畑沢医師 安東医師
・対象 昭和53年9月・10月に生れた者

・健診内容

①問診(子どもさんのことについていろいろ質問します)
②身体測定(身長、体重、胸囲)
③診察(内科、歯科)
④栄養指導
⑤保健指導
※とくに次の点に注意して診察します。
・一人で歩くことができますか
(運動機能の遅れはないか)

よく聞こえますか

(聴力障害はないか)

ことばは片言が言えますか

(ママ、パパ、マンマなど)

離乳食が完了し幼児食に移っていますか

・むし歯はありませんか

(一歳六カ月からむし歯が急に増えます)

・行動や情緒に問題はありませんか

・社会性と生活習慣の自立はどうですか

(自分のことは自分でやるようなしつけをしていますか)

乳児健康相談 23日

乳児健康相談を次のとおり行います。役場から通知のあったお子さんは利用してください。

日 時 5月23日(金) 午前10時～54年11月生れ

危険物取扱者

試験の講習会

五十五年度一回目の危険物取扱者試験は、七月二十三日(水)に予定されています。これに伴う講習会は次のとおりです。

▽期 日 6月17日・18日

・乙種四類 6月17日・18日

・丙 種 6月16日

▽会 場 秋田県正庁 秋田市山王四丁目

▽申し込み期間 5月28日～6月3日

受講申込用紙、講習会に使用するテキストの用紙は消防署にあり、詳しいことは消防署(電話2-2028)にお問い合わせください。

・自然木 ナナカマド ヌズリハ カエデ ナツハゼ 外

一本 二百円～三千五百円

・養成木 クロマツ シラカバ 外

一本 百円～五百円

※詳しいことは五城目営林署へお問い合わせください。